



生活道路のゾーン対策講習会(福岡)

対策実施地区における現地見学会・事例紹介・ワークショップ

警察庁による「ゾーン 30」や国土交通省による「生活道路対策エリア」を中心に、生活道路の交通安全対策が全国各地で実践されております。しかし、いまだ生活道路や通学路での交通事故がなくなったわけではありません。子どもや高齢者の安全を求める住民からの声に応え、あらゆる人が安全、安心にまちを歩けるよう、さらに対策を広めると同時に、より効果の高い対策を導入することが必要です。

この流れを受けて、平成 29 年 6 月、(一社)交通工学研究会による「生活道路のゾーン対策マニュアル」が大幅に改訂されました。本書は、生活道路対策の計画策定や対策手法の解説や数多くの対策事例を紹介した旧版マニュアルに最新の知見と豊富な事例を追記しました。全ページにわたって細部まで見直しをした一冊です。

今回の講習会では、このマニュアルの解説はもちろん、施策の最新情報についての講演、**実際にハンブを設置した松山市と久留米市における先進対策事例**を紹介します。さらに、デバイス導入に関する**ワークショップ**を実施し、参加者の皆さんからの質問やデバイス設置の課題などをテーマに、少人数のテーブルの話しやすい雰囲気の中でお応えします。また、講習会の翌日には久留米市で対策実施箇所の**現地見学会**も開催します。

検討業務や整備を担う技術者の皆様から、地域にお住まいの交通安全活動を担う皆様まで、幅広く「理論から実践まで」を網羅する講習会となっておりますので、会員の方々をはじめ、多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

■主催：一般社団法人 交通工学研究会

■後援(予定)：国土交通省、警察庁、福岡県警察、(一社)建設コンサルタンツ協会、(公財)国際交通安全学会

■日時：講習会 平成 30 年 12 月 3 日(月) 現地見学 12 月 4 日(火)

■講習会場(予定)：九州大学医学部 百年講堂 〒812-8582 福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号

■現地見学(予定)：久留米市の対策実施地区

■参加費：交通工学研究会 特別会員・正会員 9,800 円、一般 13,800 円、学生 5,400 円(税込)(現地視察参加費含む)

■テキスト：「改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル」をテキストとして使用しますので、既にお持ちの方は必ずご持参ください。本講習会の参加申込と同時にテキストの購入申込をし、当日会場でテキストを受け取ることもできます。その場合は、特別価格 2,835 円(税込)でご購入いただけます。

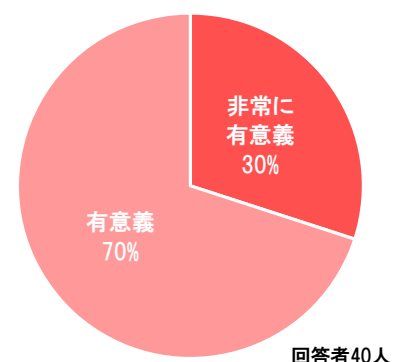


名古屋の講習会風景

<参加者の声(名古屋の講習会; 8/27 開催)>

- 参加者の全員が、「非常に有意義」・「有意義」との回答を頂いております!
- 「参加して良かった」との声が多数あります!
- ・ワークショップでは疑問に対する回答があった。また、様々な物理的デバイスを現場で見ながら解説して頂いたのが、とても有意義だった。(20代 コンサル)
- ⇒ワークショップは、各テーブル 10 名程度と話しやすい雰囲気です。デバイス設置に不安がある自治体担当者や、対策のポイント等を知りたい技術者の方々など、この機会にぜひご参加ください。

講習会に参加した感想



■プログラム

I. 講習会：12月3日（月）13:00～17:15 [受付開始：12:30]

生活道路対策の基本的考え方 生活の場としての生活道路のあり方から対策まで、 その基本的な考え方を整理します。	久保田 尚（埼玉大学） 寺内 義典（国土館大学）	13:00～13:20
ゾーン30の推進について	宮崎 賢次郎（福岡県警察本部）	13:20～13:40
生活道路における交通安全対策（仮）	永利 信太郎 （国土交通省 九州地方整備局）	13:40～14:00
＜ 休 憩 ＞		
「改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル」解説 第I部 ゾーン対策の進め方 第II部 対策手法と留意点	伊藤 将司（(株)福山コンサルタント） 小嶋 文（埼玉大学）	14:15～15:00
事例紹介 デバイス導入事例についてのご講演をいただきます。山内 潤一（松山市役所）	井手 謙詞（久留米市役所）	15:00～15:40
＜ 座 席 変 更 ＞		
ワークショップ 参加者の皆さんと、デバイス導入時の隘路と解決策について話し合います。		15:45～17:10
＜ 閉 会 （ 17:15 ） ＞		

プログラムに若干の変更がある場合もございますので、ご了承ください。

II. 現地見学会：12月4日（火）10:00～11:00

久留米市のハンプ等のデバイスを導入した地区を見学します。参加申込者には、後日、詳細な内容（集合場所等）をご連絡いたします。

なお、現地見学場所は、JR久大本線久留米高校駅から徒歩15分程度です。現地の集合場所までの移動（費用負担）は各自で行っていただきます。



■お申込について：申込書をご記入の上ファックス又はメールにて手続き願います。メールでお申し込みされる場合は、下記参加申込書を参考に必要事項を記載の上、メールタイトルを「生活道路のゾーン対策講習会申込」とし送信ください。折り返し、当会より受講票及び請求書をお送りいたします。

■生活道路のゾーン対策講習会 福岡 参加申込書 E-Mail eventzone@jste.or.jp ■FAX: 03-6410-8718

勤務先住所 〒				
勤務先名称				
とりまとめご担当者TEL		FAX	請求書発行に 関するご要望	
とりまとめご担当者の氏名 (参加者ご自身の場合は下記氏名欄に●印を追加願います)				
参加者氏名	所属部課名	現地見学会	会員区分	テキスト
氏名		参加する 参加しない	正会員・特別会員 学生会員・一般	購入 する・しない
氏名		参加する 参加しない	正会員・特別会員 学生会員・一般	購入 する・しない
氏名		参加する 参加しない	正会員・特別会員 学生会員・一般	購入 する・しない

※悪天候時の対応など、緊急の連絡は、当会WEBページ<http://www.jste.or.jp/>の「新着情報欄」にてお知らせいたします。
※お申込後、本人が止むを得ない理由により参加できなくなった場合、又は参加者を変更される場合は、開催日の3日前までに必ずご連絡願います。



お申込・お問い合わせ：一般社団法人 交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 Tel. 050-5507-7153 Fax: 03-6410-8718

生活道路のゾーン対策講習会 福岡

参加申込書

申込書はファックス又はメールにてお手続き願います。お申込書受領後、当会より見積書・請求書・納品書及び参加カード等をお送りいたします。

お申込後、本人が止むを得ない理由により参加できなくなった場合、又は参加者を変更される場合は開催日の3日前までに必ずご連絡願います。

生活道路のゾーン対策講習会 参加申込書

■ FAX: 03-6410-8718

勤務先住所 〒				
勤務先名称				
とりまとめご担当者TEL			FAX	
とりまとめご担当者 氏名 (参加者ご自身の場合は下記氏名欄に●印を追加願います)			請求書発行に関するご要望	
参加者氏名	所属部課名	現地見学会	会員区分	テキスト
氏名		参加する 参加しない	特別会員・正会員・ 一般・学生	購入 する・しない
氏名		参加する 参加しない	特別会員・正会員・ 一般・学生	購入 する・しない
氏名		参加する 参加しない	特別会員・正会員・ 一般・学生	購入 する・しない
氏名		参加する 参加しない	特別会員・正会員・ 一般・学生	購入 する・しない
氏名		参加する 参加しない	特別会員・正会員・ 一般・学生	購入 する・しない

メールでお申し込みされる場合

送信先アドレス: eventzone@jste.or.jp

Subject: 『生活道路のゾーン対策講習会 参加申込』と願います。

送信内容: 1. 参加者それぞれの情報

参加者氏名、ご所属・住所、TEL、会員区分、
現地見学会「参加する・参加しない」 テキスト「購入する・購入しない」

2. 複数のお申込みの場合、書類のお取りまとめ者

氏名、所属・住所、TEL

お申し込み後の参加者氏名の変更

連絡先: eventzone@jste.or.jp 又は FAX 03-6410-8718

Subject: 『生活道路のゾーン対策講習会参加者氏名変更』と願います。

送信内容: 1. 請求番号 5*0*-***

2. 参加地域

3. 変更内容 変更前・変更後

4. この件についてのご担当者の連絡先



一般社団法人 交通工学研究会

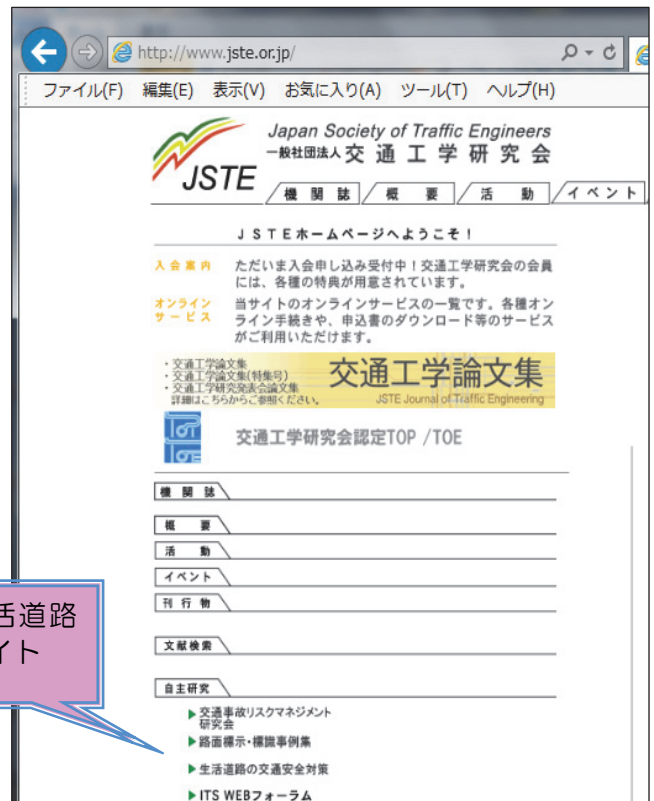
<http://www.jste.or.jp>

●生活道路の交通安全対策

交通工学研究会では、1996年「コミュニティ・ゾーン形成マニュアル」、2000年「コミュニティ・ゾーン実践マニュアル」、2004年「コミュニティ・ゾーンの評価と今後の地区交通安全」、を出版し、対策の推進に努めてきました。



生活道路
サイト



□改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル



本マニュアルは、市民、道路管理者・警察などの行政の担当者に対して、今後の生活道路におけるゾーン対策の基本的考え方と進め方および具体的な手法に関する情報を提供し、交通安全性や円滑性の向上に加え、より良い地区環境の創造に資することを目的として整理したものです。改訂のポイントは、2011年から行われている「ゾーン30」の整備、そして2016年3月「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準」への完全対応です。最新情報を必要とする実務者の方にも、生活道路や通学路を守る市民の方にも、広くご一読いただきたい一冊です。

- ▼内容案内版(パンフレット)
- ▼書籍の購入ページはこちら

□生活道路のゾーン対策講習会



進展しつつある生活道路対策の最新の動向を紹介するとともに、大幅改訂にされた「改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル」の内容について解説する講習会を定期的開催しています。

- ▼平成30年度開催内容(名古屋会場)
- ▼平成29年度開催内容(東京会場/大阪会場)

□生活道路のゾーン対策『出前講座』の開催



生活道路対策の実務に長けた技術者や学識経験者が、全国どこにでも駆けつけて、「改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル」の説明や質疑応答をさせていただきます。ゾーン30導入に係る協議会等での利用のほか、自治体・警察の新任研修や、町内会・自治会での交通安全対策を考える集まりなど、様々な機会にご活用ください。

- ▼出前講座のお申込み・お問い合わせ

□Q&A コーナー



これまでの「生活道路のゾーン対策講習会」(平成24年7・10月、平成29年9・10月開催)において、参加された皆様から寄せられたご質問をもとに、よくあるご質問とその回答を整理しました。

- ▼Q&A コーナー